

CSR実行計画・目標と実績(2025年度)

JAPEXグループ 5つのCSR重点課題 「SHINE」	S	エネルギー安定供給	Stable and sustainable energy supply
	H	企業文化としてのHSE	HSE as our culture
	I	誠実性とガバナンス	Integrity and governance
	N	社会との良好な関係構築	Being a good Neighbor
	E	選ばれる魅力ある職場	The Employer of choice

マテリアリティ	エネルギー安定供給
	カーボンニュートラル事業の確立
	人材育成とダイバーシティ推進
	デジタル・トランスフォーメーション(DX)



	個別課題	2025年度 実行計画・目標	2025年度 実績内容および成果	マテリアリティ
S エネルギー安定供給	エネルギー安定供給	石油・天然ガスの安定供給に向けたE&P事業の推進	2025年5月 インドネシア・グバン鉱区へのガス田開発に参画 2025年7月 ノルウェーにおける資産スワップにより、ベルタンデ油ガス田、アルブノード油ガス田の権益を取得 2025年12月 Verdad Resources Intermediate Holdings LLCの全持分取得による米国タイトオイル・ガス資産の取得を決定 2026年2月 Verdad Resources Intermediate Holdings LLCの全持分を取得 2026年1月 ノルウェーにおける探鉱ライセンスを取得 - イラクガラフ油田の安定的な生産に向けた取り組みを継続 2026年3月 北海道・日高地域沖合における試掘作業開始	エネルギー安定供給
		天然ガス・電力の安定供給に向けたI/U事業の推進	- 販売電力量実績: 46億kWh (LNG火力33億kWh、バイオマス13億kWh) - 天然ガスの供給障害件数 : 0件	
		業務課題に基づくDXの推進	- DX推進ロードマップに基づき3つの柱(BPR推進、統合データ基盤構築、人材育成)を推進し、DX-Ready※に到達 2026年度以降の全社展開に向け、優先バックオフィス業務のBPRを先行実施し、業務工数の削減による生産性の向上と高付加価値業務へのシフトを推進 - 社内で散在していたデータを統合・蓄積するデータウェアハウスを構築し、データ活用インフラを整備 - 高度デジタル人材育成を目的とした研修を継続し、2025年度までに約250名を育成する計画に対して目標人数の受講完了 ※デジタルによって自らのビジネスを変革する準備ができている状態	DX
	新技術の開発	CCS※1/CCUS※2の早期実用化に向けた技術開発の推進 ※1 Carbon dioxide Capture and Storage: 二酸化炭素を回収して地下に圧入し長期間保存する技術 ※2 Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage: 発電所や工場などで発生した二酸化炭素が大気へ放出される前に有効活用したうえで地下に貯留する技術 JOGMEC※との共同研究を通じた国内タイト貯留層開発(秋田タイトオイルを含む)のための坑井刺激技術の追求 ※ 独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 メタンハイドレートの商業化に向けた取り組みの継続	CCUS貯留技術の開発に向けて、CCS事業に関する技術開発成果と技術評価の知見について技術指針文書を作成し、技術検討品質の向上を推進	カーボンニュートラル事業の確立
		次世代海洋調査(株)を通じた海洋鉱物資源開発への取り組みの継続	令和7年度「不均質性の強いグリーンタフ層に対する鉱物種・鉱物量・産状に応じた坑井刺激技術の開発」に関する共同研究事業に採択され、坑井刺激技術のひとつである酸処理による増ガスを達成	
			日本メタンハイドレート調査(株)を通じて、2028年度の海洋産出試験を目指す次期フェーズの研究開発に参画	
	気候変動への対応	国内外におけるCCS/CCUSの事業化検討の推進	- 海外 - ガラフ油田における随伴ガスの出荷開始による放散量の削減 - インドネシア、マレーシアでのCCS/CCUS事業実現に向けた検討を推進 - 国内 2025年9月 苫小牧エリアでのCCS事業における試掘の許可を経済産業大臣より取得 2025年11月 北海道苫小牧市沖において、CCS事業法に基づく試掘作業を開始 - カーボンニュートラル事業推進委員会の開催(4回/年)	カーボンニュートラル事業の確立
		GHG排出削減目標の達成 ・JAPEX2050に基づくGHG排出原単位目標(Scope1+2)の達成 2019年度実績: 3.97トン-CO₂/TJ(基準年度) 2025年度GHG排出原単位目標: 3.14トン-CO₂/TJ(21%削減) 2030年度GHG排出原単位目標: 2.38トン-CO₂/TJ(40%削減) ・エネルギー資源開発連盟目標: 経団連「カーボンニュートラル行動計画」に基づくGHG排出量の削減	GHG排出原単位: 3.07トン-CO₂/TJ(2019年度比23%削減)	
		再生可能エネルギー事業の規模拡大	2025年4月 愛知県・田原バイオマス発電所の営業運転開始 2025年8月 特定卸供給事業者として太陽光発電によるオフサイトPPAの運用開始 2025年9月 北海道苫小牧市における出力13MWの太陽光発電所の建設を決定	
		天然ガス利用拡大による低炭素化への貢献	燃料転換(他燃料→天然ガス)およびコージェネレーションシステム導入等のソリューション営業による天然ガス利用拡大	

CSR実行計画・目標と実績(2025年度)

JAPEXグループ 5つのCSR重点課題 「SHINE」	S	エネルギー安定供給	Stable and sustainable energy supply
	H	企業文化としてのHSE	HSE as our culture
	I	誠実性とガバナンス	Integrity and governance
	N	社会との良好な関係構築	Being a good Neighbor
	E	選ばれる魅力ある職場	The Employer of choice

マテリアリティ	エネルギー安定供給
	カーボンニュートラル事業の確立
	人材育成とダイバーシティ推進
	デジタル・トランスフォーメーション (DX)



	個別課題	2025年度 実行計画・目標	2025年度 実績内容および成果	マテリアリティ
 企業文化 としてのHSE	労働安全衛生 の確保	HSE中期計画に基づいた取り組みの推進 -労働災害発生ゼロを目指す取り組み推進	- 休業災害率/LTIF※¹:0.28 (前年度比-0.01) - 統計対象災害率/TRIR※²:1.70 (前年度比+0.25) ※¹ Lost Time Injury Frequency:100万労働時間当たりの休業災害数 ※² Total Recordable Injury Rate:100万労働時間当たりの統計対象災害数	
		VOC(揮発性有機化合物)排出量の基準年度(2000年度)比45%削減維持に向けた取り組みの継続	VOC排出量:基準年度比47%削減	
	汚染防止・ 資源循環	水使用量削減の取り組みの推進	水使用量に関するデータの収集・モニタリングを継続	
		廃棄物削減の取り組みの推進	廃棄物量について、業者別リサイクル率、拠点別・種類別排出量の現状把握を実施	
		油等の漏洩による海洋汚染事故の発生防止	2026年3月、新潟東港西1号棧橋付近で船舶への原油積み込み中に流出事故が発生するも、漏洩量は17〜35Lで大規模事故には至らず、原因を特定のうえ再発防止を徹底	
	生物多様性・ 生態系保全	保護活動エリアにおけるポジティブインパクト創出の取り組みの継続	当社事業所のある北海道、秋田県、新潟県で、2005年以降4か所の植林活動と、その後の管理の支援を継続的に実施	
		事業拠点およびその周辺におけるネガティブインパクト低減の取り組みの継続	TNFD※³のフレームワークに沿ってLEAP分析※⁴、シナリオ分析を行い、短期および中長期的な自然関連のリスクや機会の特定、評価を実施 ※³ 企業や金融機関が、自然資本や生物多様性に関するリスクや機会を適切に評価・開示するためのフレームワークを確立することを目的として設立された国際的な組織 ※⁴ 事業が行われる地域における自然関連のリスクと機会を抽出する統合的な評価プロセス(Locate(発見)、Evaluate(診断)、Assess(評価)、Prepare(準備))	
 誠実性と ガバナンス	ガバナンス	コーポレート・ガバナンス体制の強化	- 経営層セミナー(全4日)および新任執行役員研修を実施 -セミナーテーマ:サイバーセキュリティ、役員向けDX研修、海外セキュリティ(外交・安全保障分野について) - 取締役会の前に社外役員連絡会を実施し(年4回)、社外役員への情報共有の場を設定 - 取締役会実効性評価の実施方法の見直し - 取締役会の運営に関する改善策の抽出と実行(改善策:3件)	
		全社的リスクマネジメントの推進	- 経営リスク委員会を四半期毎に開催 -主な議題:全社的なリスクの抽出・評価、実行・操業段階にある主要プロジェクトの進捗管理や課題対応、コンプライアンス違反事例の検証等 - プロジェクトの振り返りを1件実施	
		情報セキュリティ強化および個人情報保護の推進	- 重大な情報セキュリティ事故:0件 - 個人情報保護に関する従業員への啓発活動を実施 -全従業員向けの情報セキュリティ研修を実施 -2025年度新入社員研修、新任管理職研修にて、個人情報保護に関する説明を実施 - セキュリティ強化のための新たなID管理基盤を導入	
	危機管理	事業継続計画(BCP)の強化の継続 -防災力の維持・向上(緊急時対応能力の改善・向上)	事業所再編に伴う緊急対策規程の改定と周知、東京・長岡・相馬の連携訓練を実施	
		サイバーセキュリティの強化	- 経済産業省および独立行政法人情報処理推進機構(IPA)のサイバーセキュリティ経営ガイドラインの各項目への成熟度を高めるべく各対応を強化 - サイバーセキュリティインシデントに迅速に対処するための組織であるCSIRT(Computer Security Incident Response Team)の体制を再構築し強化 -高度化するサイバー攻撃を想定した実践的な演習を実施	
		海外セキュリティ対応の継続	セキュリティインテリジェンスの強化を実施	
	コンプライアンス	コンプライアンスの徹底	2025年度新入社員研修、新任管理職研修にて、インサイダー取引に関する説明を実施 - インサイダー取引の発生件数:0件 - 賄賂発生件数:0件	

CSR実行計画・目標と実績(2025年度)

JAPEXグループ 5つのCSR重点課題 「SHINE」	S	エネルギー安定供給	Stable and sustainable energy supply
	H	企業文化としてのHSE	HSE as our culture
	I	誠実性とガバナンス	Integrity and governance
	N	社会との良好な関係構築	Being a good Neighbor
	E	選ばれる魅力ある職場	The Employer of choice

マテリアリティ	エネルギー安定供給
	カーボンニュートラル事業の確立
	人材育成とダイバーシティ推進
	デジタル・トランスフォーメーション (DX)



	個別課題	2025年度 実行計画・目標	2025年度 実績内容および成果	マテリアリティ
N 社会との 良好な関係構築	人権尊重	人権尊重の取り組みの推進	- 取引先に対し「人権尊重に関するアンケート」を実施 - 役員・従業員向け「企業における人権尊重責任」研修を実施 - 外部通報窓口への通報件数:0件 - 役員、管理職、基幹職を対象にハラスメント研修を実施	
		国内外操業エリアにおける地域社会への貢献・交流活動の実施	国内操業エリアでの、地元関係者を対象とした現場見学会開催や地域イベントへの参加、通学児童の安全確保・立明ボランティアを実施	
	ステークホルダー との共生・発展	サプライチェーンマネジメントの推進	- 取引先へのCSRアンケートを実施 - 公正な取引、競争環境の徹底・創出へ向けた取り組みを実施 -CSR勉強会、定期的なリスク調査、CSR活動に関する情報発信	
		ステークホルダーとの建設的な対話の促進	- 東証・報道関係者への適時適切な情報発信および刊行物の制作・配布を実施 - IR現場見学会、IR説明会、個別面談等の実施により対話機会を維持・創出 - CCSの地域理解促進にかかる活動や環境イベントへの出展を実施	
E 選ばれる 魅力ある職場	人材育成と ダイバーシティ推進	ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DE&I)の推進 DE&I方針に基づく目標の達成 -新規学卒採用における女性採用比率:30%以上 -採用に占める中途採用者比率:50%以上 -女性管理職人数:25名以上(目標年度:2025年度末) -管理職における中途採用者比率:20%以上を維持(目標年度:2025年度末) -男性社員の育児休業取得率:80%以上(目標年度:2025年度末)	- 新規学卒採用における女性採用比率:33.3% - 採用に占める中途採用者比率:51.5% - 女性管理職人数:23名 - 管理職における中途採用者比率:26.7% - 男性社員の育児休業取得率:84.2% - PRIDE指標:シルバー取得 - ダイバーシティ関連の取り組み・従業員向けに性の多様性研修を実施 「ブラチナくるみん認定」を取得	人材育成と ダイバーシティ推進
		人的資本マネジメント強化のための人材育成体系構築	- 人材育成体系の整備 -管理職向けにマネジメントスキルサーベイおよび結果の理解促進研修を実施 -管理職育成における優先課題を特定・サーベイ結果を軸とした今後の安定的な教育基盤を構築 -海外事業人材育成方針に沿った海外関連研修を整備 -新たな研修導入による基幹職向け教育機会の拡充 - 技術系従業員を対象とした専門教育を実施(年間82回)	人材育成と ダイバーシティ推進
	公正で 働きやすい職場	働きやすい職場環境の推進	- 従業員エンゲージメント調査の総合数値結果が前年度比改善 (2024年度実績:53.7pt → 2025年度実績:55.3pt) - 有給休暇取得促進(月1日取得の風土醸成、連続7日以上休暇取得促進)	人材育成と ダイバーシティ推進 DX
		健康経営の推進	「健康経営銘柄2026」選定(3年連続) 「健康経営優良法人〜ホワイト500〜」認定(3年連続) - 定期健康診断受診率:100%継続 - ストレスチェック受検率:96.2%(前年度比 +1.2%) - 高ストレス者率5〜10%維持:8.6% - 全従業員向けに女性の健康に関する研修を実施	
		オフィス環境の整備	人的資本の最大限活用のための環境整備を推進 -オフィス改装、ペーパーレス化の推進、システム導入による業務効率化	DX